

新たな時代、多様な民主主義の形



政治学者
白鳥 令

国際的な視野で政治理論の研究に身をささげ、一方、ヨーロッパの小国、マルタ共和国の日本駐在名誉総領事としても力を尽くす白鳥令さん。常に現実を見据えて問題を鋭く分析し、不均衡な社会構造に起因する政治不安に人々が悩んでいる国を見ては、分析に基づく民主主義の価値を言及してきた。

「民主主義の形は多様だ」と言い切る背景には、民族、言語、宗教、地位などによる利害関係が複雑化し、単純な多数決では解決できない今の世界がある。世界の平和と発展を願い、激動する現代政治を注視してきた白鳥さんが、民主化の重要性とその支援の意義、日本の役割について説く。

(続きは裏ページへ)

「民主化後、それをどう 定着させていくかが重要」

政治学者

白鳥 令

Shiratori Rei

1937年台湾・台北生まれ(出身は千葉県)。政治学者。日本政治総合研究所(IPSJ)理事長、マルタ共和国日本駐在名誉総領事、国際教養大学特任教授、獨協大学名誉教授、東海大学名誉教授。60年早稲田大学政治経済学部卒業後、オックスフォード大学に留学。66年早稲田大学大学院博士課程満期退学後、獨協大学教授、英国エセックス大学教授、東海大学教授などを歴任。2000～03年国際選挙システム財団(IFES)国際評議員。著書は『政治発展論』(東洋経済新報社)、『Welfare State East and West』(Oxford University Press)、『アジアの福祉国家政策』(共編著、芦書房)ほか多数。アフガニスタンとキルギスでのJICAの選挙支援では専門家として現地で活動。ネパール、インドネシア、ボスニア、コソボ、グルジア、ルーマニアの民主化関連支援に携わる。



photos by Kamazawa Kyuya

経済発展と民主主義体制との関係は政治学、経済学、社会学と、さまざまな場で議論の対象になりますが、やはりどの場でも民主化の重要性が強調されます。「開発のための独裁」は、スポーツにおける薬物注射のような話だと私は考えていて、薬物によって100メートル走が一時的に速くなっても、結果的にはその人の体そのものを破壊してしまう。つまり国においては、開発独裁で経済を成長させても、国民の人権や意思、生活を無視したやり方は、結局はその国の潜在的な能力を崩壊させ、経済発展を持続させることができない。民主化支援を行う者は、一時の成長で成果を測るのではなく、自立性・持続性を持たせることを忘れてはいけません。

民主主義には多様な形があり、国によって異なるのが普通です。日本は戦後、アメリカが起草した民主主義に基づく憲法を日本の歴史や文化などを踏まえた形に自分たちで修正し、その憲法の下で経済大国となり、また、戦争を一度も経験しない政治的に安定した民主国家を築いてきました。同時に選挙においても、比例代表制や中選挙区制、小選挙区制などさまざまな選挙制度を導入してきた日本は、各制度の効果を経験知として分かっているわけです。ですから民主化を目指す国が、自国の政治文化などに最も合った民主主義の形を選ぶプロセスに、日本は大きな説得力を持って協力できます。日本が、民主化の理念と選挙実施の中間にある、政治資金規制の問題や選挙制度といった選挙行政に協力することは、能率という点で優れている日本の選挙行政の強みをうまく生かしていると言えます。

途上国は生活や教育水準が低いから、政治や選挙への関心も低いと考えるのは間違いで、むしろ貧しく、圧政に苦しむ人々の政治への期待感はとても高い。しかし期待が大きいだけに、思う通りの結果にならなかったときの落胆はもっと大きいですね。また、仮に選挙がうまくいっても、翌日から劇的に生活が変化するわけではないので、そこから政治不安を招くこともある。ネパールの場合、識字率が低く、人々の選挙に関する知識も少ないのですが、現在は民主化運動を機に政治への関心が高まっている時なので、それを利用し、民主主義や選挙が将来の国づくりにどんな影響を与えるか、人々に伝える必要があるでしょう。

近年JICAは、民主化支援やガバナンスの強化という分野でも非常に有効な仕事をしていると感じています。だからこそ、自分たちのイニシアチブで戦略的なプランを立案・実施していく姿勢をもっと積極的に打ち出してもいいと思います。現場でいつも住民の声を聞いているJICAの提案は、内閣や外務省、それに政治の側が政策決定をしていく上でも重要な要素となりますからね。

戦後、軍事大国にならず経済大国の道を歩んできた日本の歴史を世界が知っていますから、特に民主化・選挙支援は日本の説得力を示せる分野です。ただし、民主化したら終わり、選挙が成功したら去る、というようなスポット的な支援ではなく、民主化がテイクオフした後、一般市民、有権者、政治指導者、知識人などへの教育を含め、民主化をどう定着させていくか、そこまで考えた支援に力を入れていくべきだと思います。